



三井金属鉱業株式会社 三井金属
東京都品川区大崎 1-11-1
郵便番号 141-8584

2006年1月31日

報道各位

三井金属 中国上海市に貴金属リサイクル新会社設立

～今年4月工場建設に着工し、2007年1月操業を開始～

当社 三井金属（社長 榎原 紘）は、中国における貴金属スクラップの発生量増大に伴い、このたび上海市にこれら貴金属を対象にリサイクル事業を行う新会社（社名未定）を設立いたします。今年4月、工場建設に着工し、2007年1月には操業を開始する予定です。

<上海市に新会社設立>

新会社は、この4月、上海市において現地法人（上海鑫云貴稀金属再生利用有限公司 以下、上海鑫云社）との合併により設立いたします。資本金は、350万ドルであり、その内、当社が80%の280万ドル（約294百万円）を出資いたします。

中心部より50km南に位置する同市金山区の工業団地（金山有色高科技工業区）にある上海鑫云社の敷地内に、新たに建屋面積1,554㎡（敷地面積5,070㎡）の工場を建設いたします。今年4月に着工し、2007年1月には、本格的に操業を開始する予定です。設備投資額は、390百万円を見込みます。

新会社の工場は、スクラップ原料を高温の炉で溶解し有価金属を回収する乾式工程と、同原料を化学反応で溶解したうえで電解により有価金属を回収する湿式工程の2工程を有します。同工場の再生処理能力は、5,000t/年を見込んでいます。

<新会社の事業内容>

新会社は、原料として中国国内における金や銀などの貴金属を含有したスクラップ（廃電子基板など）を集荷し、分別・解体を行った後、それら貴金属の分離・回収を行います。再生された貴金属は、地金または中間品として販売いたします。

同社は、乾式・湿式の両工程を備えることで、スクラップ原料の状態や種類に幅広く対応が可能であり、巨大市場を擁する中国における当社の貴金属リサイクル事業の拠点として機能します。人員は、当初15名を予定し、2008年には50名規模になるものと計画しています。

< 貴金属リサイクル市場の動向等 >

中国では、急速な経済発展に伴う巨大消費地化と、世界工場としての生産拡大を背景に、貴金属を含む電子廃棄物の発生量が飛躍的に増大しています。一方で環境問題も深刻化し、各地の行政レベルで高度な環境技術と設備を完備した貴金属リサイクルへの取り組みが対策として期待されており、上海市もそうした点に関心の高い地域の一つです。

当社は、このたびの新会社設立により同市の貴金属リサイクルに対するニーズに応え、中国国内の環境向上の一助に資すると共に、製錬技術から培った当社の貴金属リサイクル技術の更なる成長と発展を図ってまいりたいと考えています。

【ご参考】

上海鑫云貴稀金属再生利用有限公司 (シンイ シウン キンゾク サセリヨウ コウゲンソ)

所在地 : 中国上海市金山区張堰鎮

代表者 : 董事長 吳小雲

資本金 : 5 百萬元

事業内容 : 廃バッテリーから再生鉛・合金鉛・再生白銀の生産

その他 : 上海市の非鉄金属リサイクル事業における有力企業。

代表者の吳氏は、同社以外にも会社を経営し、非鉄金属リサイクル事業を手広く手掛ける。

以 上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室 桜井・浅木 TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

Eメール koho@mitsui-kinzoku.co.jp